

ナビゲーター



小野さん

オンリーワンに

▽:「当社は点火コイルをやめない。米国ではクリスマスに訪れても、自動車メーカー幹部が会ってくれる」と意を強くするのは、ダイヤモンドエレクトリックホールディングス社長の小野有理さん。

▽:「電気自動車(EV)が増え、点火コイルの開発は縮小や中止されている。しかし米国メーカーもコストが高いEVだけでよいと考えていない。協力も得て、一緒に生き残る」と決意する。

▽:「二酸化炭素(CO₂)を出さないアンモニア燃料の点火コイルも開発する。有望性を示し、唯一のプレーヤーになる」と不屈の精神。